

南相馬市青少年育成市民会議 鹿島地区推進協議会だより

令和5年3月15日発行
南相馬市青少年育成市民会議
(鹿島区市民総合サービス課)
TEL 0244-46-2113
FAX 0244-46-3830

「南相馬市青少年育成市民会議」では、南相馬市の未来を担う青少年を地域で守り育てることを目的とした、地域に根差した地域住民による活動を行っています。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため活動が制限される中、「鹿島地区推進協議会」の会員をはじめ多くの鹿島区の皆さんのご協力のもとに活動を行いました。



7月 社会を 明るくする運動

7月5日、鹿島駅前において『社会を明るくする運動』啓発活動を行いました。

JR鹿島駅で鹿島地区保護士会のメンバーを中心に、9人の皆さんと電車通学の高校生を対象にあいさつ運動と『社会を明るくする運動』の啓発用品の配付を行いました。



鹿島駅での啓発活動の様子

社会を

明るくする運動とは？

『社会を明るくする運動』はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪のない地域社会を築こうとする、全国的な運動です。

8月 青少年健全育成 標語募集

鹿島区の小・中学生に地域つながりや絆について考えてもらうことを目的とした「青少年健全育成啓発標語」の募集を行いました。

今年、「コロナ禍での家族や友達の絆」をテーマに募集を行い、344人の児童・生徒からの応募がありました。公正な審査の結果、9人の作品が最優秀賞や優秀賞に選ばれました。

(入賞作品は次ページに掲載)



令和4年度「青少年健全育成標語」入賞作品

11月 標語表彰式・花いっぱい運動

11月27日、鹿島区役所大会議室において、『青少年健全育成標語』の受賞者の表彰式を行いました。表彰式では受賞者に対し、鹿島地区推進協議会の草野禎夫会長より表彰状が授与されました。

表彰式終了後には、受賞者の皆さん

と保護者の方々、鹿島地区推進協議会の総勢74人で、真野川親水サイクリングロード内において、パンジー、ピオラの苗（合計800株）の植栽を行いました。

この植栽活動は明るい社会環境づくりの推進と、真野川親水サイクリングロードに花の苗を植えることにより、鹿島区の環境美化とおもてなしの心を培うことを目的に行われたものです。

最優秀賞

『人と人 心の距離は 密でいい』
鹿島中学校 3年 目黒 梨奈

『マスクでも 笑顔伝わる 優しい目』
上真野小学校 6年 梅田 渉琉

『マスクでも 元気な笑顔 忘れない』
鹿島小学校 6年 坂下 愛瑠

『ささえあう 手をひろげると つながる輪』
鹿島小学校 6年 平 こはる

優秀賞

『コロナ禍で 距離はとるけど 心は密に』
上真野小学校 3年 青田 桃子

『マスクでも うっすらみえる その笑顔』
八沢小学校 6年 鈴木 希空

『コロナ禍も なかまといっしょに たすけあい』
八沢小学校 6年 鈴木 結愛

『だいすきな 祖父母に会うよ マスクして』
相馬支援学校 1年 町田 優太

『伝わるよ マスク越しでも その笑顔』
鹿島中学校 3年 池田 樹城



◀ 植栽の様子

▲ 表彰式後の写真撮影

